

# さんぽみち



連絡先  
鶺鴒の木特別出張所  
☎ 3750-4241

発行 わがまち大田鶺鴒の木地区推進委員会

## 鶺鴒の木地区夜間防災訓練

### 大田区夜間総合防災訓練

「さあ、」というとき、私達は何をしたらいいのでしょうか。

区は地震発生を想定して、八月三十一日午後七時から九時半まで夜間対応訓練を多摩川河川敷運動場で開催しました。この訓練は、住民主体の多彩な活動として実施され、沢山の方々の参加がありました。

この体験を通して、私達一人ひとりが自分の命を守り、隣り近所に声をかけ、助け合って、わが町を守るという心構えが重要であることを、確認しました。

そのためには、「ぐらつ。」と地震が起こったとき、先ず火を消す、次に揺れが治まって消す。天井まで燃え上がったら消火器で消す。この三つのポイントで消火に務めることが大切です。

日頃から防火、防災に関心を持ち、消火、応急、救護、救出、避難等、防災訓練に参加しましょう。  
千鳥南町会 大森 律子

各町会代表に依る消火器の使用訓練、ご苦労さんでした。



### けむりハウスをくぐって

八月三十一日、大田区防災課主催の訓練で、二百人の動員ができたか、どうか、甚だ心配でした。と、申しますのは私どもには防災の機関がなかったからです。皆様方のご協力でそれはできました。有難うございました。



それ地震、先ず火の点検。消火器は一家に一台いつも見える場所に置いてください。又各町会の道路にも設置してある場所の確認も大切です。又取扱いを知らなくては役に立ちません。日頃家族で練習が必要と思えます。起きてみなくては分からないでは困ります。一度体験しておくとは安心です。もう何時起きてもおかしくない時期ではないでしょうか。

人間、喉元過ぎれば何とやら。もう一度阪神大震災を思い浮かべ皆さん心を引きしめようではありませんか。

鶺鴒の木東町会 伊藤 太郎

### 「負傷者搬送」

最初の訓練は、白煙で一瞬先もわからないけむりハウスのトンネルぬけです。新建材のガスならどう対処しようかと、当惑しました。この訓練に参加した皆様のなかから、防災の機関をつくらうと言う声が出て、女子消火隊のチームを目下検討中です。

いざと言う時のため、早急に作り上げたいと思っております。初めての夜間防災訓練に参加して大変役にたちました。

今後地域の皆で手を取りあって行きたいと思えます。  
鶺鴒の木西町会 中澤 四郎

### 鶺鴒の木二丁目町会

□ 消火隊員四名、負傷者一名の五名一組二編成で、土手下から本部席横の救護所まで担架搬送訓練を実施しました。搬送者が男性四名ならば、長距離でもOKですが、体力が必要な事を痛感しました。

(消火隊・田口副隊長)  
□ 担架が故障し、予備の担架で訓練を続行しましたが、災害発生時だったらと思うと不安です。器材の点検をお願いします。

(成瀬比佐子)  
□ 担架が重すぎて女性4名で搬送しても、年配者には負担が重いと感じました。担架は軽くて扱い易い竹製が良いのでは……

(石井永子)  
□ 担架搬送訓練に参加、貴重な体験、大いに参考になりました。災害発生時に慌てないよう、訓練を重ねる事が肝要です。  
(中原しず江)



### バケツリレーに参加して

記憶に新しい兵庫県南部地震にはバケツリレーが大変功を奏したということ、今回の夜間訓練にはバケツリレーが組込まれました。三町会より三十名づつ参加ということで、ちよっぴりお祭り気分に参加しました。

五十うん年前の戦時中に、母達が一生命練習していたバケツリレーが、今ここで役に立つとは思ってもいませんでした。長い列を作りバケツを次から次へと心をひとつにして初期消火に当る姿に感動しました。

いつ来るか予測のつかない災害に、少しでも役に立つ事を願いながら、汗だくになり参加しました。いざという時は水は出るのかしら？

鶺鴒の木三丁目 千葉 栄子



# わがまち

## 有名人名

私の歩んだ道

鵜の木三丁目 市野瀬 かよ

大森山王から昭和十五年五月に現住居をかまえ、二年後にお声がかかり、婦人会のお手伝をしながら、昭和三十二年から十二年間、婦人部長としてボランティア活動、昭和五十八年まで民生委員を務めてまいりました。

又、昭和三十五年より保護司のお仕事をさせていただいております。その間こんなこともありまして、青年が私にお嫁さんを世話してほしいと言うのでお見合いをさ

# 今昔めぐりかわり

千鳥一丁目 水野 敬司

テレビなどで、古い城下町を川が流れている風景を見たりすると、今昔は六郷用水をとりあげまし



↑昔の面影を残していた頃の六郷用水(昭和23年)

現在の六郷用水(田園調布南24番付近)↓

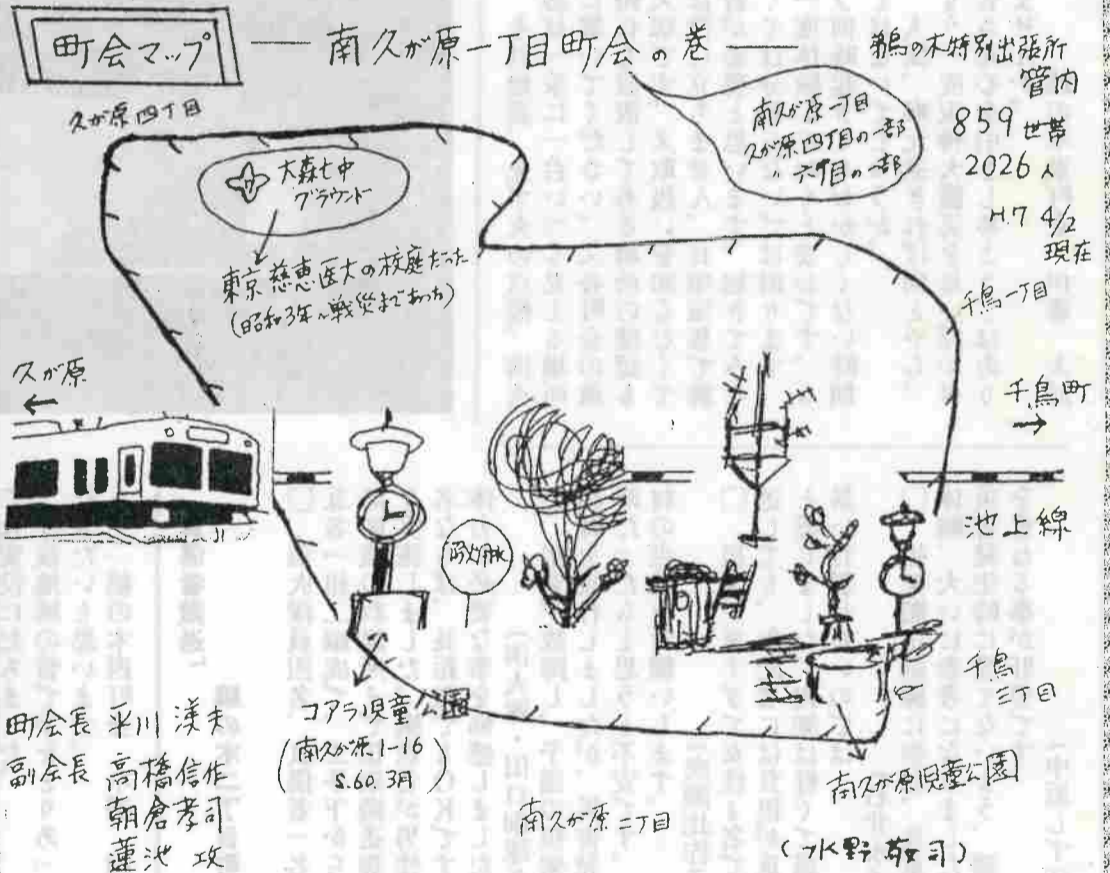


せ、現在子供二人に恵まれ円満な家庭生活を日々送っております。私にとって忘れることの出来ない思い出がございます。平成四年には叙勲をいただきました。これもひとえに地域社会の皆様のお力添えと感謝致しております。犯罪のない明るい社会を願ながら息子夫婦と孫一人共々毎日を大切にしながら頑張りを続けております。(担当者の聞き取りによる。敬称略)

た。徳川家康の命により家臣の小泉次夫が慶長二年(一五九七)から十二年間をかけて完成させました。

### 敬老の日によせて

鵜の木特別出張所管内七町会の今年の敬老該当者七十五歳以上は一五五七名の由。その中には、明治二十六年生まれの百二歳の玉木繁治さんという方もおられます。今の老人は体力、行動力、意識と昔より三割ほど若いといわれております。ある大学教授は「中年から食事、運動、休養の三つの自己管理をしっかりとすれば寝たきりも少なくなる。」と語っています。



# リレーエッセイ

南久が原二丁目 板倉 正子

した。「もう年齢だから」と後向きの人もありますが、「私は若いのだ」という気持ちで頑張れたらと思います。自分の目標をたてて自分の出来る範囲の趣味を持つことも長生きの秘訣の一つのようです。老いると時の流れが殊更早く感じられます。一日一日を大切に暮らしたいものです。今回は鵜の木三丁目町会の 吉田 智恵さんです。

# 俳句

どこからとなく落葉焚く匂ひかな

枯芝に思ひ思ひの遊びして

鵜の木二丁目 山本 佳子

母の日の川は入日を刻みおり

鵜の木二丁目 山崎 ヨシエ

陽に透きて虫食ひもなし薄紅葉

雁渡る護送車窓を封じたり

南久が原二丁目 池田 史門

逝く人に見送る人に秋の風

南久が原二丁目 岩本 宝造

### 編集後記

四町会の皆さん、鵜の木地区で初めての夜間防災訓練参加いただきご苦労さまでした。これからも隣組で互いに具体的な防災に関する話し合いを積み重ねてほしいと願っております。私達の生命と財産を守る為に。本年も残り少なくなりました。この一年「さんぽみち」ご愛読有難うございました。 池田進太郎

### 鵜の木特別出張所管内

人口	男	10,749名
	女	10,925名
	計	21,674名
世帯数	10,086世帯	
平成7年10月1日現在		